

# 給食だよい

1月号  
毎月 19 日は  
食育の日

令和7年1月21日  
新座市立新座小学校  
栄養教諭 鈴木純子

20日は「大寒」ですが、これから特に厳しい寒さを迎える時期です。給食室では水道の水の冷たさや、油や水の温度上昇に時間がかかることから、冬を体感しています。寒さに負けず規則正しい生活をおくり、元気に登校しましょう。

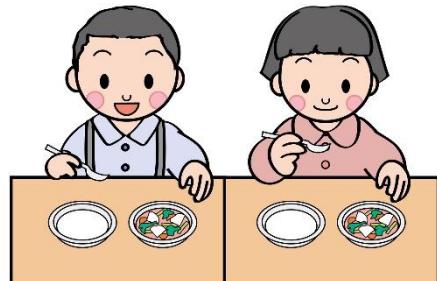


～1月24日から1月30日は「全国学校給食週間」です～



明治22年に山形県の私立忠愛小学校  
(大督寺境内)で始まった学校給食は、  
当初貧困児童の救済が目的でした。

戦争中に一時中断されていましたが、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したことから、再開することになりました。



ユニセフやアメリカの救援団体などからの物資の  
援助を受けて、昭和21年12月24日に、東京、

神奈川、千葉で給食が再び実施されました。この日を記念して、12月24日が  
「学校給食感謝の日」と定められましたが、冬休みの期間と重なってしまうため、  
1か月ずらした1月24日から30日を「学校給食週間」とし、学校給食の意義や役  
割について理解や関心を深める期間となりました。

～昔の給食を展示します～

給食週間中、1階のはなみずきギャラリーに



昔の給食を再現したレプリカ(複製模型)を展示します。ぜひご覧ください。

	
<p><b>明治 22 年</b> 日本で初めて提供された給食 「栄養不足の子供を救済する目的」 おにぎり・鮭の塩焼き・菜の漬物</p>	<p><b>昭和38年</b> 戦後アメリカ等からの支援物資 により給食実施 主食は「パン」がメイン 瓶牛乳・コッペパン・マーガリン 魚のすり身フライ・マカロニサラダ</p>
	
<p><b>平成11年</b> 昭和40年代から、袋入り「ソフト麺」が登場。 ゼリーフライは、埼玉県行田市の「郷土料理」 牛乳・なす南蛮うどん・ゼリーフライ 夏色サラダ・みかん</p>	<p><b>平成 16 年</b> 統合により新座小が誕生 ～主食はご飯が主となり、地元の食材の活用 「地産地消」が進む～ 牛乳・ご飯・いかのねぎみそ焼き いもがらの五目煮・いよかん</p>
	<p>給食では、明治 22 年のレプリカに近づけた、再現献立を提供します。レプリカは、食事の内容だけでなく、食器やスプーンの材質なども、忠実に複製されています。</p>
<p><b>令和元年</b> 新 1 万円札の顔「渋沢栄一」の 出身地深谷市の給食 黒パン・牛乳・ステンドグラスキッシュ風・ふ つかちゃん野菜のごまごまサラダ・栄一翁の 愛した煮ぼうとう手作りコーヒー豆乳ゼリー</p>	<p><b>ポイント:給食の目的変遷</b></p> <p>児童の栄養状態・体位の改善 →食文化(郷土料理・行事食等)の継承に 加え地産地消(地域生産地域消費)</p>